



「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」 建設業協会一関支部が土木科にタブレットを寄贈

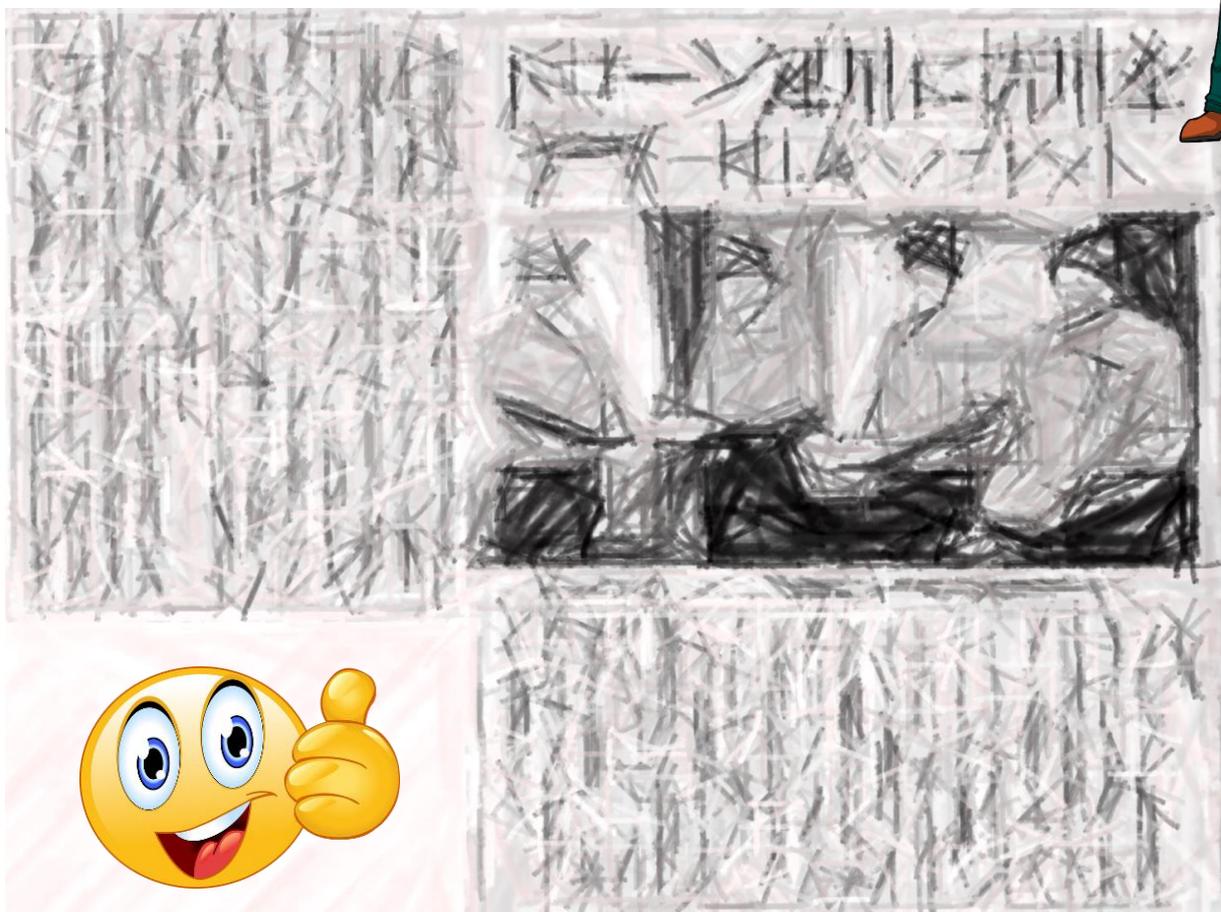
令和3年8月27日（木）関工は、岩手県建設業協会一関支部須田光宏支部長（（株）平野組 代表取締役社長）から、「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」で、土木科が地域連携で取り組んでいる宮城岩手内陸地震の震源地・災害復旧（巖美地区）状況等のデジタル化に活用しているドローン撮影について、その活動を支援する趣旨で iPad（タブレット）2台と附属アタッチメントを寄贈していただきました。

紺野英二土木科長は、今まで生徒達のスマートフォンを使用していましたが、みんなで共有できるタブレットが使用できることで、大いに活用範囲が広がる事を期待していました。今後は、デジタル化した空撮データを巖美地区の震災遺稿データとして展示する予定になっています。当協会は、地域の関連団体であり本校の学校運営協議会委員でもあります。地域の期待と応援があつての関工です。

本当にありがとうございました。 m(_ _)m

～ いま 関工がおもしろい ～

岩手日日新聞 R3.8.27



技術の標 ここに在り

